

生活



住 所 ● 〒060-8711 北海道新聞生活部
(郵便のあて先は住所不要です)
電 話 ● 011-210-5605
ファクス ● 011-210-5607
電子メール ● seikatsu@hokkaido-np.co.jp

私の祖母は洋裁が得意です。若いころは仕立屋さんで働き、オーダーメイドのジャケットを毎日何着も縫ったそうです。祖母は私と妹のために、おそろいのシャツやワンピース、コートなどを縫ってくれました。小さいころの写真は、必ず2人同じ服で写っています。大きくなってからは、私がデザインをし「襟は

いずみ

祖母の縫った服

丸くして」「丈は膝ぐらいね」と相談をして服を縫ってもらいました。年をとってもおしゃれで、流行をチェックする元気な祖母が大好きです。結婚をするということになり、夫の家族にあいさつに行くときも、両家の顔合わせにも祖母が縫ったジャケットを着ました。なんだか祖母が後ろから「頑張れ！」と見守って式当日、中座の介添え

を祖母にお願いしました。祖母は披露宴の間ずっと泣き通し、介添えでは私のドレスを何度も踏んづけ、「縫ってもらわなくて正解だったな」と思いました。おぼば、今までたくさんの服を縫ってくれて、ありがとう。元気で長生きして、今度は私の子供のために、産着を縫ってくださいね。

太田 夢 (28歳・主婦)

一室蘭市

投稿は女性だけ、600字で。郵便、ファクスは原稿用紙を使い、生活部「いずみ」係、電子メールはizumi@hokkaido-np.co.jpへ。原稿には題、住所、氏名、年齢、職業、郵便・電話番号も明記。趣旨を損なわずに加筆することがあります。原稿はお返ししません。掲載分は記事データベースに収録します。

がんの患者さんが自宅で過ごす時に輸液をすることがあります。人工的水分や栄養を入れるためです。当院では患者さんの約3割が何らかの輸液を行っています。輸液が必要な患者さんには積極的にを行います。でも、終末期で「食べられなくなった」というだけで輸液を開始することはあまりありません。輸液で元気になることはほとんどないからです。

教えて在宅ホスピス

⑬ また、せっかく自宅で過ごしているのに、輸液の管が付くことによって不自由になってしまつこともあり

輸液(点滴)

入浴可能なCVポート



患者さんの右胸に埋め込まれたCVポート。ホームケアクリニック札幌提供

場合はいろいろな工夫が要ります。簡単な水分補給には皮下輸液という方法があります。血管に入れる輸液と異なり、輸液が漏れて刺し替える必要が無く、安心です。

中心静脈栄養は本格的な栄養補給になります。胸に皮下埋め込み型中心静脈ポート(CVポート)を作ると、皮膚の外側から針を刺して輸液ができます。

CVポートのメリットは針を抜くと入浴することができます。比較的長い期間自宅で輸液をする場合には、入院中にCVポートを作ってもらつと良いでしょう。

(ホームケアクリニック札幌院長 前野宏)

坂下 美樹

きょうの1品

金時豆とツナのサラダ

(1人分209kcal、塩分0.8g)

豆の水煮缶を使った手軽にできる彩りのよいサラダです。

◇材料(2人分) 金時豆水煮缶60g、玉ネギ1/2個、紫玉ネギ1/2個、パプリカ赤と黄各1/2個、ミニトマト4個、ツナ缶1/2個分、レモン汁小さじ2、酢、サラダ油、オリーブ油、塩、粗びき黒コショウ、ベビーリーフ適量

◇作り方

①玉ネギはみじん切りにして水でさらして水気を切っておく。

②紫玉ネギは薄切りして水でさらし、パプリカは千切り、ミニトマトはへたをとって半分に切る。ツナ缶は油を切っておく。

③容器にレモン汁、酢小さじ2、サラダ油、オリーブ油各大さじ1、塩小さじ1/2、粗びき黒コショウ適量をよく混ぜてドレッシングを作る。

④ボウルに①、②、水気を切った金時豆を合わせて③のドレッシングであえて、ベビーリーフを敷いた皿に盛る。

◇メモ 缶詰の豆は一度お湯に通して温めてからドレッシングであえると味がよくなじみます。